



夏休み、どの本よもうかな？ (3、4年生)

マメクジラくん、海へいく

やましたはるお ^{ぶん} 山下明生／文 ^{むらかみやすなり え} 村上康成／絵 ^{かいせいしや} 偕成社 (J 913／ヤ)

ナメクジのマメクジラくんは、クジラに会いに行ったおじいさんをつれもどしに、旅に出ました。ゆくてには、たくさんのきけんが待ちうけています。ちいさなマメクジラくんは、^{ぶし}無事に海にたどりつけるでしょう。



きよせき うんぱん 巨石運搬！ 海をこえて大阪城へ

かまたあゆみ さく 鎌田 歩／作 ^{かん} アリス館 (E ちしきーしろ)

今から 400 年ほど前、大阪にお城をつくるため、^{きよだい} 巨大な石が瀬戸内海の島から海をわたって運ばれました。まずは、山から石を切り出します。^{いしく} 石工たちは歌をうたいながら作業し、島じゅうの村人たちもいっしょに働きます。昔の運搬技術がよくわかるイラスト絵本です。



なんでももってる(?) 男の子

イアン・ホワイブラウ／作 ^{さく いしがきのりこ やく} 石垣賀子／訳 ^{え とくましょてん} すぎはらともこ／絵 徳間書店 (J 933／ホ)

ナンデモモッテル家のフライは、大金持ちの男の子です。^{たんじょう び} 誕生日がきてても、これ以上何がほしいかわかりません。めしつかいは、「ごくふつうの男の子を家によんで、うらやましがらせたらどうでしょう?」といいました。



せかいいちおいしいスープ あるむかしばなし

マーシャ・ブラウン／文・絵 ^{ぶん え} こみやゆう／訳 ^{やく いわなみしょてん} 岩波書店 (E みんわーそら)

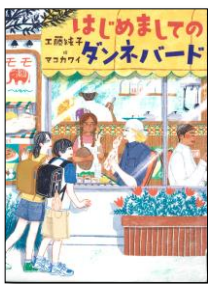
はらべこの3人の兵士が、ある村で食べ物をわけてほしいと頼んだところ、^{たの たの} 断られてしまいました。そこで、「石のスープ」を作ることになりました。ものめずらしいスープを見てみたい村の人たちは、スープ作りを手伝います。



はじめましてのダンネバード

くどうじゅんこ ^{さく} 工藤純子／作 ^え マコカワイ／絵 ^{しゅっぱん} くもん出版 (J 913／ク)

夏休み明けの新学期、蒼太のクラスにネパールからエリサが転校してきました。ところが、日本語がわからないエリサは、だんだん学校を休みがちになります。蒼太は人前で話すことが苦手でしたが、^{ゆうき} 勇気を出して、クラスのみんなにある提案をすることにしました。



犬たちよ、今、助けに行くからね

さわだとしこ ^{ぶん} 沢田俊子／文 ^{こうだんしや} 講談社 (J 645／サ)

飼い主にぎゃくたいされたり、放置された犬の保護活動を ^{ほ ご かつどう} 紹介する本です。金本さんは仲間と ^{しょうかい} 協力して 1000 頭もの犬を助けてきました。「つらい経験をした犬も、^{けいけん} 最後は人間を信じてくれたのではないか」という思いが金本さんを支えています。



光にむかって サーロー節子ノーベル平和賞のスピーチ

サーロー節子／[述] ^{せつ こ} くさばよしみ／編 ^{へん} やまなかもち／絵 ^え 汐文社 (J 319／サ)

2017 年、ノーベル平和賞が国際組織 ^{こくさいしや} I CAN に授与されました。I CAN のメンバーで、広島で被爆したサーロー節子さんは、ノーベル平和賞のスピーチで、自分が体験した原爆のおそろしさを話し、核兵器をなくそうと訴えました。



いぼ (『ごんぎつね』より)

にいみなんきち ^{さく} 新美南吉／作 ^{しや} ポプラ社 (J 913／ニ)

夏休み、松吉と弟の杉作は、町からあそびにきたいとこの克巳と仲良くなりました。克巳は、松吉の手にある「いぼ」を見て、「ぼくもほしいな」といいます。そこで松吉は、克巳に「いぼ」を人にうつす「おまじない」をとなえてあげました。

